



広陵町

No.116



令和4年2月1日

議会だより



※本誌は撮影時のみマスクを外しています。

インターネット
配信開始1周年!

のべ2,427回閲覧。ぜひご覧ください！

目次

- | | |
|------|---------|
| P.2 | 新年の抱負 |
| P.4 | 地域のつながり |
| P.5 | 議会News |
| P.6 | 一般質問 |
| P.20 | 臨時会・定例会 |
| P.24 | 委員会の窓 |

新年の抱負

水 水は方円の器に隨うと言いま
すが、大切な「いのちの水」です。



副議長
八尾 春雄

穏 世のなかが安穏なれと願い、自分に
出来ることを問うて生きる。



議長
吉村 裕之



来 コロナや気候変動など将来の不安を人類の叡智で希望ある未来へ



山田 美津代

青 青年らしく、青天を衝く勢いで、町政推進にまい進して参ります。



千北 慎也

進 コロナを乗り越え前へ進む。



吉村 真弓美

志 志は気の帥なり。志を立てるのに遅すぎることはない。



谷 穎一

犬 年末に室内犬を迎めました。母のセラピー。か弱い命を守る責任。



坂野 佳宏

「繋」
げる。
人と人とを繋ぎ、次代に繋



堀川 季延

「栄」
今年こそ全てが豊かになり、
我が地域が栄えるように選びまし
た。



坂口 友良

「和」
「和を以て貴し」住民
の皆さまとともに、いい町づ
くりを!



山村 美咲子

「安」
コロナ終息を願い、
人々が安心して安定した暮ら
しの実感に全集中



笹井 由明



「輝」
若き日の輝きを、年を
重ねてなお持ち続ける人生
であります。



岡橋 庄次

「心」
人の心を大切に…



青木 義勝

「翔」
コロナ禍を克服し、
いきいきと翔べるような社会
の実現に向けて



岡本 晃隆

第14回

地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。)

傾聴ボランティア「かぐや」

傾聴ボランティアって なに?

話を、お聴きするボランティアです。

相手のお話したいことに、丁寧に耳を傾け、あなたの気持ちに寄り添い、思いやりと温かい心でお聴きします。高齢で、お独り暮らしの方、外に出ることが少なくなっている方、寂しい思いをされている方、話し相手を求めている方、お話を聴かせください。

悲しみ、苦しみ、悩み、そして楽しい事、うれしい事、世間話、何でもお話しください。



▲個人宅での傾聴

活動内容

2019年発足。会員は、現在12名。奈良県「傾聴ボランティア養成講座」を受講し「聴き方」の技法を学び、活動しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者施設での傾聴は、行っていません。感染対策をしながら、個人宅訪問の傾聴を行っています。

共に微笑み、お元気になって、傾聴の日を心待ちにしてくださる方が、お一人でも多く思っています。お気軽にお問い合わせください。お待ちしています。

活動実績

- ・高齢者施設（大和園）での傾聴。
- ・個人宅に訪問しての傾聴。



▲定例会の様子

問合先

広陵町社会福祉協議会（さわやかホール）

TEL 0745-55-8300

◎ボランティアスタッフを、募集しています。
あなたも、一緒に始めませんか？

傾聴ボランティア「かぐや」

代表者 栗田 由子

TEL 0745-55-7795(留守電に、お願いします)



議会News ニュース

2021年度第2回 議会報告会開催!

2021年11月27日(土)・28日(日)の2日間、広陵町立図書館において、2021年度第2回議会報告会を開催し、5つのテーマについて、担当議員からパネルを使ってご報告をさせていただきました。また、報告会終了後も、12月21日までパネルの展示をさせていただきました。

2日間で25名の方々にご報告と意見交換をさせていただくことができました。また、報告の内容は、YouTubeにもアップロードしております、のべ347回再生(2021年12月24日時点)いただいております。視聴URLは下記の通りですので、是非ご覧ください。引き続き、開かれた議会となるよう努めて参ります。



<施設を見学> 10月25日(月)

西校区放課後子ども育成教室

広陵西小学校区に新しい放課後子ども育成教室の施設が出来ました。



▲施設を見学

<現地確認> 12月16日(木)

町道認定

町内13本の町道認定のため、現地を確認しました。



▲道路認定現場視察（厚生建設委員会）

町政を 問う



一般質問

岡橋 庄次 議員 (7ページ)

- 3回目ワクチン接種について
- コロナ禍でのいじめや不登校
- ソーラーパネルの設置について

坂口 友良 議員 (8ページ)

- ウイズコロナの体制は
- 中央公民館建替え予算取りは
- ごみ袋代を半額に

谷 穎一 議員 (9ページ)

- 防災組織の活用でハザードマップの作成を
- 自治基本条例の制定で住みよい町へ
- 学校施設の民間開放 この機会に検討を

堀川 季延 議員 (10ページ)

- 野焼き苦情の経緯と結果について
- 町道平尾疋相線からの路線延長計画について

岡本 晃隆 議員 (11ページ)

- 広陵北地域の活性化に向けた取組について
- 空き地などの樹木や雑草の管理について
- 子どもたちを守る取組について

八尾 春雄 議員 (12ページ)

- 犬と一緒に公園散歩
- クリーンセンター稼働停止による CO₂減少
- 大字会計の神社費支出

山田 美津代 議員 (13ページ)

- 西幼稚園跡地を子育て支援の拠点に
- 新入学児へのランリュックプレゼント実施を
- ウォーターサーバーを各学校に設置を

坂野 佳宏 議員 (14ページ)

- 通称（特区）の廃止について

笹井 由明 議員 (15ページ)

- ひきこもり支援の現状と今後の課題について
- 空家対策について

山村 美咲子 議員 (16ページ)

- デジタル活用支援について
- 子どもたちの「生きる力」をつけるために

青木 義勝 議員 (17ページ)

- 防災公園をクリーンセンター跡地に

千北 慎也 議員 (18ページ)

- 町主導でさらなるIT導入の後押しを
- ふるさと納税を活用し、讃岐神社の整備を
- 電算システムのIEサポート終了への対応は

吉村 真弓美 議員 (19ページ)

- ICT教育について
- 産後ケアについて

一般質問を12月10日～14日に行いました。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継、または会議録をご覧ください。

会議録は、3月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページにも掲載する予定です。

①答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部次長の発言を要約して掲載する場合に用いています。





おかはし
岡橋 庄次
しょうじ

コロナ
対策

3回目ワクチン 接種について

目接種済証の用紙を郵送する。情報は現在HPに掲載中。
②柔軟に対応する。

学校教育

コロナ禍での いじめや不登校

中学校5件、不登校は小学校20人、中学校49人で昨年度に比べ、いじめは減少、不登校は増加傾向にある。

②児童生徒個々の状況に応じた個別指導及び相談員やカウンセラーの配置を実施。

本町の見解をお伺いする。

植村教育長

問 昨年度の奈良県では、いじめの認知件数は前年度を下回った一方、小中学校の不登校が増加している。

①本町におけるいじめや不登校の状況について。

②本町では、これからを踏まえてどのように配慮して指導しているのか。

問 太陽光パネルを設置するにおいて、土地所有者が制約を受けずに自由に設置できるのか。或いは、地目による制約はあるのか。一定面積以上は町の許可が必要なのか。また、ソーラーパネルの設置について、環境や土地利用の観点からどのように進めていくのか、

ソーラーパネル の設置について

環境対策

○「奈良県都市計画法に基づく開発許可の基準に関する条例」の見直しとそれに伴い、想定される広陵町の土地利用の状況について

その他
質問事項

土地所有者が制約や許可等について、事情に応じて必要な限り、これらの手続を終えることで設置は可能だ。また、本町では脱炭素社会に向けた再生可能エネルギー導入計画の策定に取り組んでいる。

山村町長

問 ①本町の、ワクチン接種について接種券の発送や接種時期、接種会場等の対応を問う。

②オミクロン株の感染者が増加しており、ワクチン接種を前倒しする考えはあるのか。

山村町長

①3回目追加接種券は、2回目接種日から8か月後の対応日の1か月前に、接種券付き予診票と1・2回目の接種記録等を印字した3回

問 国では、3回目となるワクチンの追加接種を正式に決定したことにより

①本町の、ワクチン接種について接種券の発送や接種時期、接種会場等の対応を問う。

②柔軟に対応する。

山村町長
12月中はファイザー、1月
下旬はファイザーとモデルナ
の両方となる見込みである。
5歳から11歳までの小児の計
画は実施されることとなつた

一般の集団接種は3月からさ
わやかホールでのスタートに
なる。世界的には感染者増加
などまだまだ行政担当部門は
気が抜けない。事業所も第六
波に備えて動き出している。
本町の備えは万全か。

植村教育長
今年度中にハード面とソフ
ト面の「文化芸術推進基本計
画(案)」を議会にお示しする。
予算措置については各方面と

検討委員会を傍聴させて
もらつたが、来年には答申が
出ると聞いた。答申により予
算もしっかりと付けることが
大切である。社会教育は人生
100年生涯教育の重要な部
門であるので当局の奮闘を願い
たいがどうか。

クリーンセンターの跡地は
ごみの中継基地として使用す
る計画なので、町民に具体的
なメリットの提示が必要であ
る。ごみ袋代を半額にして町
民にメリットを感じてもらう
のが良いが考えは。

○来年度の予算取りは
予定通りの確保はど
うか

その他
質問事項

公衆衛生 制は ウイズコロナの体

社会教育 中央公民館建替え 予算取りは

ごみ袋代を半額に

場合には速やかに開始するよ
う準備を進めている。

協議し、答申を受けて次の段
階に移ると判断されるので、
まず検討委員会の取りまとめ
を行う。

当面は多額の建設費がいる
のですぐには実施できないと
考えるが、提案をいただいて
いるので広域化施設の稼働後
において再度検討させていた
だきたい。

山村町長



さかぐち
坂口 友良



たに
谷 穎一
よしかず

理事者
町ハザードマップは町の危険要素が反映されていない。防災訓練も役員だけで参加する地域も少なくない。以下の効果が期待できるので40ある自主防災組織で各地域の避難経路の危険個所の点検訓練することを提案する。

①住民の避難意識の啓発。
②自主防災組織の避難訓練。
③点検の資料を基にハザードマップの改正に利用。

各地域の訓練時に家庭や地域での避難のあり方を呼びか

防災組織の活用 でハザードマップの作成を

危機管理

ける。
マップへの落し込みは災害の履歴や避難経路も分かりやすく記載する。

まちづくり

自治基本条例の制定で住みよい町へ

問 7月議会に続き質問するが、各自治会の現状は高齢化、会員不足や防災訓練など町や地域の行事への参加が少ないとから継続困難な状況が続いている、地域のコミュニティが崩壊しかねない。

①制定後の具体的な対応は。
②地域だけで解決できない事案について町はどういう支援していくのか。

①区長・自治会長会で連絡したが、地域からは町は積極的なアプローチは控えるよう意見があった。

②住民団体等が課題解決に取り組む活動を積極的に支援するなど、課題解決の仕組み構築に努める。

理事者

教育施設開放 学校施設の民間開放 この機会に検討を

問 町が「開かれた公共施設マネジメント研修」で公共施設の縮充について講師の方が、学校施設を公民館活動の利用者に開放することを個人的な意見として提案された。

中央公民館は必要と考えるが、建設まで長引くのであれば、この機会に利用を試行してはどうか。民間開放に良い機会だ。

理事者

現在、小学校の運動場を野球やサッカーカラーブへ、また中学校の図書館を自治会総会に開放している。生徒の安全面や授業の兼ね合いもあり公民館クラブ活動の利用としては難しい。

※「縮充」講師である南学（みなみまなぶ）氏の造語で、「施設を縮小するが住民サービスを低下させることなく、機能を充実するの意」としている

農業振興

野焼き苦情の経緯
と結果について

理事者

農業については、高齢化や後継者不足などによる農家の減少など様々な課題があり、町として農村集落の活力が損なわれないよう、「人・農地」プランの実質化」に向け農家の皆様と取り組みを進めている。

本町では、特区の影響などから農地と宅地の混在化が見られる。農地では稻作での病害虫駆除やすき込み目的のわら焼き、畑作での豆がらなどの焼却処分など、慣習として野焼きが行われ、においや煙が立ちこめることから、近隣の住宅地から苦情が出る。一部の地域で、野焼きについて話し合いが持たれたと聞くが、善処策は見いだされたのか。将来に向けての農業振興策についても聞かせてほしい。

※「すき込み」刈り取り後の稻の株や落ちている藁を焼いて翌年の水田の肥料にするため土地と混ぜる作業のこと

ほりかわ としのぶ
堀川 季延

土地利用計画

町道平尾疋相線からの路線延長計画について

避難所に指定されている広陵西小学校、真美ヶ丘第一小学校に接続する防災道路として、それぞれ一期工事・二期工事とし、切れ目なく一体的に進める。

町道平尾疋相線については、用地測量業務が進められており、来年度に用地交渉を行い新設工事へと進むと聞いています。その先の計画としての真美ヶ丘第一小学校までの路線について、広陵西小学校双方の立場を尊重し、地域の話し合いを通じて、農業の様々な問題解決に向けて取り組んでいく。



山村町長

町道平尾疋相線は、東西幹線道路の町道柳板大谷線から



おかもと
岡本 晃隆

環境保全

空き地などの樹木や雑草の管理について

理事者

令和3年度、4年度に、コンパクトシティや防災安全などを踏まえた土地利用や道路や公園など都市施設等の整備方針等の検討を進めている。

問 広陵北地域の箸尾駅周辺の事業計画の進捗状況について伺う。

答 広陵北地域の箸尾駅周辺の事業計画の進捗状況について伺う。

理事者

学校教育 子どもたちを守る取組について

理事者

本町の昨年度と今年度の不登校やいじめ、自殺者の人數は。

理事者

空き地の適正管理と周辺の生活環境の保全に協力いただきよう周知していく。

問 空き地の環境保全について、一部所有者の協力が得られず、事実上お手上げの土地がある。今後、どのように対応するのか。

問 本町の昨年度と今年度の不登校やいじめ、自殺者の人數は。

答 不登校やいじめ、自殺予防などに向けた学校の取組について。

問 不登校やいじめ、自殺予防などに向けた学校の取組について。

問 不登校やいじめ、自殺予防などに向けた学校の取組について。

校児童生徒数は、小学校18人、中学校36人。いじめの認知件数は、小学校101件、中学校6件。自殺者は、小中学校ともに0件。今年度10月末までの不登校は、小学校20人、中学校49人。いじめの認知件数は、小学校54件、中学校5件。自殺者は、小中学校ともに0件。

問 児童生徒の登下校時の安全確保に向けた取組の実施状況について。

答 児童生徒の登下校時の安全確保に向けた取組の実施状況について。

問 危険箇所の確認を学校長に指示するとともに、横断歩道や交差点注意等の路面標示の劣化に伴う修繕などについて、関係機関及び町関係課と協議を行い、今後、早急に対処していく。

問 いじめの未然防止策として、いじめに関するアンケートを実施し、学級や学年での指導、弁護士による出前講座を実施。不登校については、

地域活性化に向けた取組について

地域活性化に向けた取組について



犬と一緒に 公園散歩

近隣公園

問 令和4年1月から3月まで、町内近隣公園（横峯公園等）では犬と一緒に散步に関する試行が実施される。どのように進めるのか。愛犬家のマナー遵守が進み、犬との共生も大きなテーマになっている昨今だ。

山村町長

公園内園路に限定して犬と一緒に散步をいつたん認めるが、地域住民の皆さまの理解が前提になる。公園内で犬を禁止する法令は存在しないが一方で適切な管理が求められ

る。住所・氏名を記載した意見書を募集し、その内容で新たな判断をしたいので、関心のある方は町までは非意見書の提出をお願いしたい。

クリーンセンター 稼働停止によるCO₂減少

ごみ処理

問 3月18日でクリーンセンターは稼働停止となる。これまで発生していたCO₂はどうだけ減少するのか。その意義は何か。

山村町長

年間町内発生量が1万500トンのところクリーンセンター稼働停止で6,700トン

が減少する見込みだ。県内10自治体共同で運営する天理のゴミ処理センターにおいても減少が見込まれる。町内で現しているゴミは天理では焼却処分する予定。今後私たちが消費するプラスティック量を抑制し環境に対する負荷を減らしたい。

山村町長

大字会計の 神社費支出

信教の自由

いろいろな審議会設置に当たり、各種団体から委員を選出していただいている。各種団体には町が公金を支出し健全な発展を期待している。

例えば大字の中には会計で神社費を支出している事例がある。個人の信教の自由を保障する上で問題はないのか。

神社祭事は地域の伝統行事としての側面もあるが、その経費は自治会費とは別に管理者徴収するなど良い方法を話し合っていただくのがよいと考える。

その他質問項目

○障がい者や歩行困難者の投票の権利を保障するため、改善してほしいことについて

○障がい者や歩行困難者の投票の権利を保障するため、改善してほしいことについて

子育て支援

西幼稚園跡地を子育て支援の拠点に



やまだ
山田 美津代

山村町長

問 子ども園開設に伴い、地域につながりのある西幼稚園が統廃合により閉園になるとで、跡地を子育て支援のグループなどが使えるセンターにして、子育てで不安を抱えておられるお母さんが気軽に相談できる子育て支援の拠点や増えている発達障がいの支援センターとして活用することを検討してはどうか。

跡地は財政負担軽減の観点から民間への売却を検討。子育て支援拠点は他の公共施設利用を検討。

子育て支援

新入学児へのランリュックプレゼント実施を

問 入学時は10万近く費用が掛かりランドセルを買える家庭は良いが保護者には負担、また子ども達は3キロ以上の重いランドセルでの登下校は体に負担がかかる。軽いランリュックで登校する自治体も増えている、300人の新一年生へプレゼントしてはどうか。

植村教育長

京都などで安価で、黄色い色が交通事故から守ると使われているが、ランドセルをご家庭で選んでいくことが学びへ移る環境変化にと対応する準備であると考えるので選択は可能だがプレゼントはいたしません。

植村教育長

京都などで安価で、黄色い色が交通事故から守ると使われているが、ランドセルをご家庭で選んでいくことが学びへ移る環境変化にと対応する準備であると考えるので選択は可能だがプレゼントはいたしません。

子育て支援

ウォーターサーバーを各学校に設置を

問 每年猛暑で子ども達は水筒を持っての登校は負担。水道直轄のウォーターサーバーを設置する自治体も増えてきている。保護者の負担も大変な中設置を検討してはどうか。

植村教育長

熱中症対策で水分補給は重要だが衛生面や安全面への課題があることから検討しない。複数本を持たせていただく対応は保護者の役目と認識している。

まちづくり

通称(特区)の 廃止について

問

11月23日の全体協議会において、説明があり、施行日が令和4年4月1日とのこと。余りにも急な話であり、町民の理解を得られるのか。

まず、県作成のハザードマップで3m以上の浸水区域が外れるとのことだが、災害想定区域を守るインフラ整備をすることが行政の責務である。1階部分を非住居とする建築制限を掛けば町民の生命と財産を守れるではないか。

また、根拠となるハザードマップの信頼性に疑問をもつている。



今回の条例改正で一番割を食うのは広陵町である。町民のため、奈良県としつかりと交渉願いたい。

山村町長

都市計画法の改正に伴い、今後進められる奈良県条例の改正については、11月県議会において見直し方針及び改正案が報告され、令和4年1月にパブリックコメントを実施し、2月県議会に条例改正案が提出される予定と聞いています。

本町としては、洪水ハザードマップの浸水想定深3m以上（大場、萱野、広瀬）の除外については、都市計画法の改正に伴う対応であることか

ら、住民説明や公聴会、縦覧等の手続きを行うことは考えていらないがホームページや広報紙への掲載や窓口への掲示等により町民の皆さんに広報し、できるだけ早く周知が図れるよう努めてまいります。

ら県管理の中小河川も想定した洪水浸水マップの作成が進められる。

区域が拡大する部分が生ずると予想しており、しつかりと協議してまいります。

作成が進めばさらに、浸水

マップの信頼性についてだが、全戸配布した洪水マップは、平成31年3月26日付けで奈良県が公表した洪水浸水想定区域図に基づいたものである。

国の作成マニュアルに基づき作成されており、相当精度の高いと考えられる。

現在の、広陵町洪水ハザードマップは一級河川3本をベ

その他質問事項

○合葬墓のありかたについて



ささい よしあき
笹井 由明

社会福祉

ひきこもり支援の現状と今後の課題について

問

- ①本町のひきこもりの実数は。
- ②ひきこもり支援の窓口と令和2年度、令和3年度現在までの相談件数は。
- ③本人や家族の支援の実態と支援機関との連携は。
- ④シェアハウス等入所者に対する福祉援助資金の検討強化策は。

と、40歳から64歳までで172人、15歳から39歳までで140人で合計300人以上の存在が推計できる。

②窓口は社会福祉課、社会福祉協議会となる。相談件数は両窓口で現在まで5件であるが、全ての相談を汲み取り、問題の解消につなげるコーディネーターやコミュニティソーシャルワーカーなど環境整備に努めたい。

③相談者の現状把握とともに、日々の生活習慣の聞き取り等から、必要なケア、診療につなげている。また、県では平成27年度から相談窓口が設置され、市町村ひきこもりネットワーク会議を通し、各支援機関連携とともに臨床心理士やライフプ

問 令和2年6月、9月、令和3年3月議会において管理不全放置空家について質問を行ってきた。その後、前進があつたのか。経過を問う。

年4月1日に老朽危険空家等除却補助金交付要綱の制定により、3件の申請があり、除却工事が進められており、徐々に周辺住民の迷惑となる危険空家の減少につながっている。

申出の空家については、これまで検討するまでに至っていない。

④シェアハウス等、全国的に広がりをみせていく支援施設への入所者については、実数が捉えきれていない本町にとつて検討するまでに至っていない。

以上放置状態が続ければ、空家等対策協議会で特定空家等に認定し、最終的には行政代執行をせざるを得ないケースも出てくると考えているが、定期的に檀家の方により倒壊した際の被害を最小限に食い止めるとともに、被災地の復旧復興のための危険廻りの撤去や繁茂した草木の除去などを実施している。本山にもこの実態を数回にわたり電話で連絡相談をしており、来年早々にも、現場確認をいただく運びとなっている。

山村町長

山村町長

- ①本人または家族からの申出により認識できる状態である。国の調査推計率を用いる

空家対策

空家対策について

問

令和2年6月、9月、令和3年3月議会において管理不全放置空家について質問を行ってきた。その後、前進があつたのか。経過を問う。

①本人または家族からの申出により認識できる状態である。国の調査推計率を用いる

平成22年度の高齢化率は、
19.2%。今後のコロナ後の
19.

理事者

社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル技術を使いこなせる方と、そうではない方のデジタル格差解消の取組が重要であると考える。本町の高齢化の現状及びデジタル格差への課題認識について伺う。

また、本町のラインは登録者が1万人を超えており、機能が充実している。活用方法などもっと住民に周知すべきである。

デジタル活用支援について

デジタル活用

社会全体のデジタル化が進められる中、デジタル技術を使いこなせる方と、そうで

はない方のデジタル格差解消の取組が重要であると考える。本町の高齢化の現状及びデジタル格差への課題認識について伺う。

社会変容も踏まえると、各種行政手続きやサービス提供にデジタル化を応用したものが増えてくると考えられ、高齢化に向けて、誰もが使えるデジタル化を目指していく。

教育 子どもたちの「生きる力」をつけるために

これから社会が、どんなに変化して予測困難になつても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まっている新しい「学習指導要領」

進、道徳教育・人権教育の推進、特別支援教育の充実

植村教育長

①本年度、広陵町教育振興基金計画の策定に取り組んで

いる。基礎学力の向上、

ICTを活用した教育の推

進、道徳教育・人権教育の

推進、特別支援教育の充実

には、そうした願いが込められている。

人工知能（AI）の進化やグローバル化により、社会が急速に変化する時代。このよう

な流れをうけ、学校教育も大きな変化が求められている。

これから学校教育について町の展望をお聞きする。

①広陵町の考える特色のある学校づくりとは。

②コミュニティ・スクールの進捗状況は。



やまむら みさこ
山村 美咲子

になどが主な施策。

②町内7校すべてで立ち上げを完了しており、運営について協議を行っている。

地域に開かれた学校づくりに取り組んでいく。



あおき よしかつ
青木 義勝

問 自然災害での水害は予測できて備えは可能である。地震は予知不能であるが共に発生時と発生後に備えて、町民に災害に対応する知識の啓発が重要である。それが防災意識の向上となり、その有効な手段として来年3月停止後の跡地を活用して、町民が集い遊び学んで訓練も体験して交流する防災統合公園を。本町の停止と天理市での広域処理施設の稼働の時間差で3年後となるが、提案地は葛城川に隣接するので水位など川の状況も見えて、防災体験教育に

防災公園をクリーンセンター跡地に

なる。複合施設として、避難所、食糧と機器材の備蓄庫、救助ボート及びヘリポート、体験施設は、あずま屋にテントを張り雨風をしのぐ。かまどベンチで炊き出し、防災トイレ、平時には、子どもたちが防災機能付き遊具で遊びながら体験する、広いスペースでピクニックを、ランニングなどスポーツを、犬と散歩も楽しめる公園を、この提案はウイズそしてポストコロナ禍を見据えた本町が安心安全な持続可能な町となるために本町の現在と将来の身の丈に見合った防災総合公園の設置を求める。予定のリサイクルごみの中継施設との兼ね合いも含めた跡地の活用についてを問う。



▲災害時にテントを張って休憩所に…
(防府市より提供)

山村町長

議員参加のごみ処理町民会議提言を受けて、提案の防災公園は、防災の教育や体験ができる施設及びランニングなど、防災機能や体育施設等を

兼ねた公園計画で大変有意義な提案である。そして中継施設との兼ね合いの提案も参考にして研究し、町民及び地域にも望まれる施設の設置に努める。



▲かまどベンチで炊き出しを
(厚木市より提供)

産業支援

町主導でさらなるIT導入の後押しを

問 本年11月に実施された「広陵町中小企業・小規模企業デジタル化推進補助金」が非常に好評だったと聞いている。その理由は、また、地方自治体としてデジタル化を後押しする補助金を設けることは、町内事業者の後押しだけではなく、IT事業者の誘致にもつながると思うので、しっかりと外部にも広陵町の施策をPRしつつ、今後も継続してもらいたい。予算としては、近年好調だというふるさと納税での増税分を充てたらどうか。

讀岐神社

ふるさと納税を活用し、讃岐神社の整備を

問 かぐや姫の里として、物語の舞台となる讃岐神社の整備にまちとして取り組むべきだと考えるがどうか。また、讀

理事者

KoCo-BizにもIT関連の相談も多く、ニーズが多くたと認識している。今後とも継続的なサポートが必要だと考えているので、支援策を検討する。広陵町がIT導入積極的だということを継続的にアピールしていきたい。予算については協議していく。

岐神社を管理する7カ大字で構成する讃岐会で、讃岐神社に関連するふるさと納税の返礼品の開発を進めており、こちらの後方支援をいただくことは可能か。



ちぎた しんや
千北 慎也

理事者

かぐや姫の里として、讃岐神社は重要な観光施設であるが、町が宗教施設の整備を行なうには制約がある。公共道路の代替機能を有する参道などは町が整備を行える可能性がある。讃岐会として、ふるさと納税に出品されたい、といふことであれば、然るべき手順で申請いただければ、内部で審査を行う。返礼品として出せるものであれば、話題性

もあると思うので、共にPRをしたいと思う。

デジタル化

IE電算システムのIEサポート終了への対応は

問 IE（インターネット・エクスプローラー）のサポートが2020年6月に終了することだが、広陵町役場の電算システム等に影響が出ないよう対応ができるいるか。

理事者

順次対応を進めている。



よしむら まゆみ
吉村 真弓美

教育について ICT教育につ

理事者

- ①遠隔授業の取り組みにおいて、学校と各家庭におけるネットワーク環境について、どのように考えるか。
- ②端末の修理代は誰が負担するのか、きちんと方策を検討すべきではないか。
- ③5年後の端末更新費用についても今から対策を講じていくべきである。
- ④広陵町においてもデジタル化が進み、窓口の必要性が問われる中、女性のデジタル人材育成を支援し、学校や地域の人手不足解消につなげていってはいかがか。

福祉について 産後ケアについて

理事者

- ①本町の産後ケアの実施状況は。
- ②出産直後のお母さん方に必要な支援は家事も含まれるのではないか。
- ③男女共同参画で育休を推進しても共働き世帯の男性の8割が家事をやっていなくて、7割が育児を行っていない。産前産後の母子に対する切れ目のない支援を充実させるためには、男性の家事推進をセットでやらなければならぬないと考える。

その他質問事項

- 税金教育の充実に向けた取組

ICT教育につ

理事者

- ①児童生徒の1割弱のご家庭においてネットワーク環境が整っていない状況を把握している。教育委員会としては、学校の端末活用状況に応じて、保護者の皆様にネットワーク環境整備の協力を求めていく。
- ②保険について早急に検討する。
- ③教育委員会として考えているのは、新1年生300人と仮定して、端末について公が負担すべきなのか研究していく。
- ④リモートワークやテレワークといったセミナーを検討している。

産後ケアについて

理事者

- ①令和2年度の申請件数は5件、令和3年度の11月末時点で申請件数は6件である。
- 関わる専門職は助産師で、訪問型では母子への心身のケア及び育児に資する指導等を行う。

- ②制度上成り立っていないため、家事そのものが支援でききない。産後ヘルパーという制度をしっかりと検討する。
- ③保健師の方から意識改革をしていただけるように指導する。

令和3年12月定例会提出議案 (議案は採決し、報告は町長専決の報告)

議案番号	件 名	概 要
報告第17号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告について	新型コロナウイルス感染症拡大防止支援補助金の専決処分の承認
報告第18号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	子育て世帯臨時特別給付金(1人5万円)の専決処分の承認
議案第61号	広陵町行政財産使用料条例の制定について	行政財産の使用料と徴収方法を定める
議案第62号	広陵町議会政務活動費の交付に関する条例及び職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正することについて	政務活動費手続きで押印を省略する
議案第63号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正することについて	審査申出書等で押印を省略する
議案第64号	広陵町道路占用料に関する条例の一部を改正することについて	過料の整備及び占用が1月未満の場合の消費税額について定める
議案第65号	広陵町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	連携施設確保義務の緩和とパソコンで記録する手法を可能とする
議案第66号	広陵町国民健康保険条例の一部を改正することについて	出産育児一時金の改定と産科医療補償制度加入の場合の加算について定める
議案第67号	広陵町都市公園条例の一部を改正することについて	(議案第64号と同じ)
議案第68号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第9号)	平尾公民館建設工事・クリーンセンター庁舎改修工事等
議案第69号	令和3年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	積立金・償還金の残高確定による調整
議案第70号	令和3年度広陵町水道事業会計補正予算(第2号)	旧水道局跡地におけるガス漏れ事故に関する、工事遅延補償及び周辺対応工事の追加
議案第71号	訴えの提起について	クリーンセンター内においてごみ収集車の接触でシャッターが破損したので損害賠償請求を行う
議案第72号	町道の路線認定について	町内13か所の道路を町道として認定する
議案第73号	葛城市・広陵町介護認定審査会共同設置規約の変更について	担当事務局所在地の移動による規約変更を承認する
議案第74号	葛城市・広陵町障害支援区分判定審査会共同設置規約の変更について	(同上)
議案第75号	奈良広域水質検査センター組合規約の変更について	山添村及び磯城郡(田原本町・川西町・三宅町)の一部事務組合の加入を認める
議案第76号	令和3年度広陵町一般会計補正予算(第10号)	報告第18号に加え、1人10万円の現金給付を行うため、追加の補正を行う
議員提出 議案第9号	選択的夫婦別姓制度の導入について議論を求める意見書について	(可決したので21ページに全文掲載しました)
議員提出 議案第10号	コロナ禍による米価下落対策を求める意見書について	余剰米の政府買い上げと困窮者への支援で米価対策を求める内容(賛成少数で否決)

令和3年第3回（11月25日）臨時会提出議案

議案番号	件 名	概 要
議案第58号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて	新型コロナウイルスワクチン接種に関する不手際や給与支払報告書の紛失により、町民の皆様に不安を与え、不信感を抱かせることを重く受け止め、町長・副町長・教育長の給料月額を減額する。町長・副町長は20%減額4か月、教育長は10%減額4か月とする
議案第59号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて	
議案第60号	令和3年度広陵町一般会計補正予算（第7号）	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等

選択的夫婦別姓制度の導入について議論を求める意見書

平成30年2月に内閣府が公表した世論調査において、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓（姓）制度の導入に賛成または容認すると答えた国民は66.9%であり、反対の29.3%を大きく上回ったことが明らかになりました。

しかし、現行の民法では、婚姻時に夫婦のいずれか一方が姓を改めることと規定しています。このため、社会的な信用と実績を築いた人が望まない改姓をすることで、一部の資格証では旧姓の使用が認められない、姓を維持するために法的な保障の少ない事実婚を選択せざるを得ないなどの事態が生じています。

政府は旧姓の通称使用の拡大の取組を進めていますが、ダブルネームを使い分ける負担の増加、社会的なダブルネーム管理コスト、個人識別の誤りのリスクやコストを増大させる等の問題も指摘されています。

さらに、平成27年12月の最高裁判決に引き続き、令和3年6月の最高裁決定においても、夫婦同姓規定が合憲とされる一方、夫婦の氏に関する制度の在り方については、国会で論ぜられ、判断されるべきであるとされたところですが、依然として国会での議論は進んでいない状況です。

よって、国におかれでは、反対意見にも留意し、選択的夫婦別姓制度の導入について積極的な議論を行うよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年12月21日

奈良県広陵町議会

内閣総理大臣 岸田 文雄 様
法務大臣 古川 穎久 様

令和3年12月定例会 議案採決状況一覧 (○賛成 ×反対)

※採決が分かれた議題のみを載せております。

議 案	坂口友良	堀川季延	千北慎也	山田美津代	笹井由明	山村美咲子	坂野佳宏	谷 稔一	吉村裕之	吉村眞弓美	岡本晃隆	青木義勝	岡橋庄次	八尾春雄	議決結果
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	原案可決
議員提出議案第9号	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	原案可決
議員提出議案第10号	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	否 決

議案第70号 令和3年度広陵町水道事業会計補正予算(第2号)	賛成	反対	賛成	反対
旧水道局解体し跡地売却した後の経過処置は私が30年間建物の設計や工事に関わってきて聞いたことがない。迷惑を被るのは購入した民間企業と無駄な費用を税金で支払われる町民だ。	員会で丁寧な説明を受け、特に補償額の内訳と今後の交渉に対し、担当者からの決意を聞いている。交渉の後押しするためにも予算の裏付けが必要である。	補正予算額の増額については委員会で丁寧な説明を受け、特に補償額の内訳と今後の交渉に対し、担当者からの決意を聞いている。	単に米価を上げる政策を望んでいるが、人口の減少や高齢者の食の多様化なども影響し、消費の減となってている。農家にとって、真に望む要望につなげてほしい。	別姓を選択したい方が姓を分けることが選べない、日本人間の夫婦同姓に例外を認めない現行制度には課題がある。また、併記された旧姓には法的効力が認められておらず、課題の解決策として不足している。

議案第9号 選択的夫婦別姓制度の導入について議論を求める意見書について	賛成	反対	議案第10号 コロナ禍による米価下落対策を求める意見書について	賛成
先の総選挙に対し、マスコミがこぞって取り上げ話題となつた。広陵町民の機運は、私が知る限り高まっていない。まず、町民の意向調査の上、提出されたい。	単に米価を上げる政策を望んでいるが、人口の減少や高齢者の食の多様化なども影響し、消費の減となってている。農家にとって、真に望む要望につなげてほしい。	コロナ禍で貧困世帯が増えている。米の「過剰在庫」は国が責任を持って生活困窮者、学生などへ食糧支援をすることは重要。外国人ではすでにやられているこの施策を活用する事が盛り込まれていて意見書なので賛成する。	原案では「制度の法制化を求める」を、総務文教委員会の提案にしたいとのことで「導入についての議論を求める」内容に修正したものだ。意見の相違を克服して委員会提案にしていただいたことは大変よかったです。	

子育て世帯への臨時特別給付金は届きましたか？

支給対象となる児童とは・・・

- ①令和3年9月分の児童手当(特例給付を除く)の受給対象児童(9月に生まれた児童を含む)
- ②平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた児童で、令和3年9月30日時点で広陵町に住民票がある方
- ③令和3年10月1日から令和4年3月31日までに生まれた児童手当(特例給付を除く)の受給対象児童



昨年12月27日、指定口座に1人10万円が振り込まれているかどうか確認してください。まだの方は申請が必要な場合がありますので、さわやかホール福祉部こども課(☎55-6820)までご連絡ください。

町議会での取り組み

予算をともなう提案を議員はできません。町長は「当初5万円は現金で、残り5万円はクーポンで」との国の方針通りの動きでしたが、クーポン発行に多額の経費（国全体で900億円超との報道）がかかることが明らかになる中で、住民からの声が日増しに強まり、最終的に国が方針を転換して残り5万円はクーポンではなく現金支給も可とする変更が実施されました。広陵町内においても議員の所には「クーポンでなく現金で、年内に支給してほしい」との声が届きました。こうした声を私たち議員は町長に伝え、12月21日議会最終日に、町長から残り5万円も現金で支給する補正予算案の提案があり、議会は全会一致この提案を可決したのでした。

＼住民税非課税の世帯に対して、現金10万円を支給予定／ **住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金**

広報こうりょう1月号より再録しています。

最新の案内は広報こうりょう2月号で明らかにされますのでご覧下さい。

問 社会福祉課 ☎(55) 6771

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな経済対策の一部として、住民税非課税の世帯に対して、現金10万円の支給が予定されています。政府（内閣府）の資料によると、「住民税非課税世帯に対して、1世帯あたり10万円の現金をプッシュ型で給付する」とされています。この給付金と、上記の子育て世帯への臨時特別給付金とは別の制度であり、両者の条件に該当する方には、両方が給付されます。

「プッシュ型の給付」とは？

皆さんからの申請を待たずに、自治体のほうで給付対象となる世帯を抽出し、できるだけ簡素な手続きで迅速に支給を実施する方法です。

支給方法や時期について

詳細が判明次第、広報紙や町ホームページなどでお知らせします。

以下のいずれかの方は住民税が非課税になります

- ①生活保護（生活扶助）を受けている
- ②障がい者、未成年者、寡婦、ひとり親の方で、前年の所得が135万円以下（給与所得であれば204.4万円未満）
- ③前年の合計所得金額が次の計算額以下の方
$$28\text{万円} \times (\text{扶養親族数} + 1) + 268,000\text{円} \quad \text{※扶養親族数には16歳未満の扶養親族・同一生計配偶者も含みます。}$$

【重要】別世帯の住民税課税所得者の扶養親族である場合は、支給されません。

家計急変世帯に対する給付

当給付金は、令和3年度の住民税非課税世帯だけでなく、実質的に住民税非課税と同等の世帯（新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、直近の収入が非課税相当の水準に下がった世帯）に対しても支給されます。

この場合は申請に基づく給付となりますので、申請方法などの詳細は判明次第、お知らせします。

委員会の窓

第4回定例会（12月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された15件について審査を行いました。その結果は本議会に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案第61号

広陵町行政財産使用料条例の制定について

質問 行政財産を使用した場合の手続きは。

回答 さわやかホールやグリーンパレスなど、使用許可願を提出し審査後使用許可書を発行する。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第68号

令和3年度広陵町一般会計補正予算（第9号）

質問 ふるさと会館費の損失補填金について。

回答 指定管理者として運営しているが令和2年度ははしお元気村は、132万6,934円の黒字。グリーンパレスは、770万9,039円の赤字で最終合計が、638万2,105円の赤字となる。グリーンパレスの平均利用件数は7割減少しているため、今回の赤字補填分は、最終合計の7割分としている。

全員一致で可決すべきものと決しました。

回答 令和2年は、他自治体に寄附した額は、約2億6,080万円。町外からの寄附額は約3,900万円。

質問 ふるさと納税で、町民が他自治体に寄附した額と広陵町に寄附された額はいくらか。

厚生建設委員会

議案第66号

広陵町国民健康保険条例の一部を改正することについて

質問 産科医療補償制度に加入していない病院はあるのか。また、出産費用は42万円で足りるのか。

回答 奈良県内はすべて制度に加入されている。出産費用は病院によって様々であるが、42万円でも足りない場合があるのが現状である。しかしながら、出産育児一時金については、今段階ではこの金額になると考へている。

回答 奈良県内はすべて制度に加入されている。出産費用は病院によって様々であるが、42万円でも足りない場合があるのが現状である。しかしながら、出産育児一時金については、今段階ではこの金額になると考へている。

質問 リーダー式ケーゲング回転掘削工法は適正に行われたのか。

回答 当初、普通の重機で進めようとしたが、深すぎて重機も届かず、多くの土砂を掘り起こし、民間道路にも支障を及ぼすため、リーダー式ケーゲング回転掘削工法とした。この工法で、杭を1本ずつ計7本抜く作業を行った。

全員一致で可決すべきものと決しました。

令和3年度広陵町水道事業会計補正予算（第2号）

議案第70号

令和3年度広陵町水道事業会計補正予算（第2号）

議案第70号に関する町提出資料

水道局跡地での民間事業者の工場建設遅延による経費増加について

		ガス漏れ事故対応と地中障害物の除去に3ヶ月半を要し 工場建設工事において以下の経費が追加となっています。																																			
◆ ◆ 建設工事の準備工や重機回送費など現場経費等の増加 ◆ ◆ 工場完成が約3ヶ月遅延し、新規購入の製造設備の納品 を受けられず、貨倉庫で一時保管する経費が発生																																					
約3週間の中止		3ヶ月弱の工場建設工事の中止																																			
<p>○基礎杭打設の障害物の除去の経緯</p> <table border="1"> <tr> <td>9月3日</td> <td>地中障害物の撤去</td> <td>8月12日</td> <td>杭打設工法の決定</td> </tr> <tr> <td>8月23日</td> <td>地中障害物により杭打設工事の中断</td> <td>8月5日</td> <td>撤去工法の決定</td> </tr> <tr> <td>7月28日</td> <td>地中障害物により杭打設工事の再開</td> <td>7月28日</td> <td>地中障害物により杭打設工事の再開</td> </tr> <tr> <td>7月26日</td> <td>地中障害物による杭打設工事の再開</td> <td>7月26日</td> <td>地中障害物による杭打設工事の再開</td> </tr> <tr> <td>7月5日</td> <td>民間事業者による杭打設工事の再開</td> <td>6月25日</td> <td>地下の安全確認調査完了</td> </tr> <tr> <td>6月21日</td> <td>地盤調査費の補正予算(専決)</td> <td>6月7日</td> <td>地下安全確認調査費の緊急委託の要請</td> </tr> <tr> <td>6月5日</td> <td>民間建設工事の再開</td> <td>5月31日</td> <td>地下安全確認調査費の緊急委託の要請</td> </tr> <tr> <td>5月28日</td> <td>地元説明会</td> <td>5月16日</td> <td>地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生</td> </tr> <tr> <td>5月7日</td> <td>地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生</td> <td>5月7日</td> <td>地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生</td> </tr> </table>		9月3日	地中障害物の撤去	8月12日	杭打設工法の決定	8月23日	地中障害物により杭打設工事の中断	8月5日	撤去工法の決定	7月28日	地中障害物により杭打設工事の再開	7月28日	地中障害物により杭打設工事の再開	7月26日	地中障害物による杭打設工事の再開	7月26日	地中障害物による杭打設工事の再開	7月5日	民間事業者による杭打設工事の再開	6月25日	地下の安全確認調査完了	6月21日	地盤調査費の補正予算(専決)	6月7日	地下安全確認調査費の緊急委託の要請	6月5日	民間建設工事の再開	5月31日	地下安全確認調査費の緊急委託の要請	5月28日	地元説明会	5月16日	地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生	5月7日	地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生	5月7日	地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生
9月3日	地中障害物の撤去	8月12日	杭打設工法の決定																																		
8月23日	地中障害物により杭打設工事の中断	8月5日	撤去工法の決定																																		
7月28日	地中障害物により杭打設工事の再開	7月28日	地中障害物により杭打設工事の再開																																		
7月26日	地中障害物による杭打設工事の再開	7月26日	地中障害物による杭打設工事の再開																																		
7月5日	民間事業者による杭打設工事の再開	6月25日	地下の安全確認調査完了																																		
6月21日	地盤調査費の補正予算(専決)	6月7日	地下安全確認調査費の緊急委託の要請																																		
6月5日	民間建設工事の再開	5月31日	地下安全確認調査費の緊急委託の要請																																		
5月28日	地元説明会	5月16日	地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生																																		
5月7日	地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生	5月7日	地下水槽の床塗中にガス漏れ事故が発生																																		
<p>実質3週程度の遅延</p>		<p>傷病者20名・農業被害発生 新聞各社の記事で塩素ガスボンベ 鋼製杭基礎の打設工事等の中止 傷病者補償・農業補償・地下安全 確認調査の方法等の了解を得る であることが判明</p>																																			

補正予算

(単位:円)

一次補正	予算費目	一次補正・流用後	二次補正後	執行明細	執行済	執行予定	備考
	その他委託料(費目追加)	(+29,000,000) 29,000,000	29,000,000	水道局跡地の地下安全確認調査	27,500,000		村本建設(株)
				近隣農地の土壤汚染調査		1,500,000	日本検査
二次補正	浄水場解体周辺対応	14,130,130	24,130,130				
	周辺対応工事	765,600	(+10,000,000) 10,765,600	水路修繕工事	765,600		松井組
				水路床張等の修繕工事		2,000,000	
				転落防止柵修繕等		6,000,000	+(-10,000,000)
				ガードレール修繕・手摺り設置		2,000,000	
	地中障害物除去	13,364,530	13,364,530	リーダー式ケーシング回転掘削機・他		9,700,000	村本建設(株)
				地中障害物撤去・処分		3,664,530	
	路面復旧費	7,000,000	7,000,000	工事車両通行で傷んだ舗装の修繕		7,000,000	
	補償金	1,869,870	(+15,000,000) 16,869,870	医療費補償	344,370		近隣住民等の傷病者
				農業被害補償	1,525,500		近隣農地所有者
				杭打機・資材等の積込・回送費		6,000,000	民間事業者
				建設工事遅延による現場経費の増加		6,800,000	+(-15,000,000)
				工場竣工遅延による経費補償		2,200,000	
	合計	(+29,000,000) 52,000,000	(+25,000,000) 77,000,000		30,135,470	46,864,530	執行済+執行予定 77,000,000



議会日誌



19日	13日	10日	8日	7日	1月 24日	21日	16日	14日	13日	10日	7日	12月 1日	25日 11月
第4回臨時会 全員協議会	議会運営委員会 常任委員長会	第4回定例会(初日) 第4回定例会(2日目)	議会運営委員会 総務文教委員会	第4回定例会(3日目) 総務文教委員会	第4回定例会(4日目) 厚生建設委員会	全員協議会 議会運営委員会	第2回広報編集委員会 第1回広報編集委員会	第4回定例会(最終日) 広陵町消防出初式	成人式 第3回広報編集委員会	第4回臨時会 成人式	議会運営委員会 第2回広報編集委員会	議会運営委員会 第1回広報編集委員会	議会運営委員会 成年式

**令和4年 祝御成人
おめでとうございます**

地域行事

▼大とんど

▲とんどの残り火で焼き芋

◀防災

防災

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがあります。その際は、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員
員 長	員 長	員 長	員 長	員 長	員 長
青木	吉村	笹井	千北	八尾	春雄
義勝	晃隆	眞弓美	慎也	由明	春雄

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

これからも、元気いっぱいの方の笑顔を撮影できること、広報編集委員全員が、楽しみにしております。是非ご視聴いただけますようよろしくお願いいたします。

方の笑顔を撮影できること、広報編集委員全員が、楽しみにしております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

これからも、元気いっぱいの方の笑顔を撮影できること、広報編集委員全員が、楽しみにしております。

町民の皆様から、「議会だよりを見ているよ」「読んでいるよ」とのお声かけをいただきたびに、議会だよりの大ささを再認識してまいりました。議会広報の役割は、「議会で何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」そのことを町民の皆さんにわかりやすく伝えることだと考えております。これからも、工夫しながら「伝える」努力を重ねてまいります。

編集後記



この広報は、有害な排水を出さない「水なし印刷」を採用しています。SDGsの掲げる17の項目に対して、8つの項目で具体的な貢献をします。

